

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

<p>学校名</p>	<p>みやき町立三根東小学校</p>		
<p>1 前年度 評価結果の概要</p>	<p>令和元年度の評価結果については、主に以下のような成果や課題があった。 ◇児童の一人一人のよさや可能性を見つけ伸ばす学級経営のもと、校内研究を通じた授業改善を行うこと等により、全国・県調査では、5年社会科「思考・判断」を除き、4教科全領域において全国・県平均を上回ることができた。 ◆児童の主体的な態度の育成については、今年度のがん教育に係る研修の成果である「教育活動を『点』ではなく『線』で捉える」ことで、教科等横断的な視点で小学校6年間の見通しを持った指導を行っていく必要がある。 ◆開発的生徒指導の理念を全職員が理解し、委員会活動や係活動などにおいて、「出番・役割・承認」取組の充実を図り、児童一人一人の自己肯定感を高め、主体的・実践的な態度を育成する。</p>		
<p>2 学校教育目標</p>	<p>キャッチフレーズ 「夢にチャレンジ東っ子」 学校教育目標 「元気いっぱい笑顔あふれる」児童の育成 ～ 自分大好き、友だち大好き、学校大好きな子供 ～</p>		
<p>3 本年度の重点目標</p>	<p>1 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上(自分づくり) 2 豊かな体験活動の充実と地域を生かした教育活動の推進(仲間づくり) 3 確実な学力向上と主体的・対話的で深い学びの推進(学びづくり)</p>		
<p>4 重点取組内容・成果指標</p>			
<p>(1) 共通評価項目</p>			
<p style="text-align: center;">重点取組</p>			
<p>評価項目</p>	<p>取組内容</p>	<p>成果指標 (数値目標)</p>	<p>具体的取組</p>
<p>●学力の向上</p>	<p>●全職員による共通理解と共通実践 ○児童の基礎学力の定着を図る。</p>	<p>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○授業の中での話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う児童の割合が80%以上 ○「算数が分かる」児童の割合が85%以上</p>	<p>・教職員間でのマイプランの共有及び校内研修等による取組を促進する。 ・色カードで自分の立場を明確にし、話し合いに臨む。 ・算数音読テストに定期的に取り組む。</p>
<p>●心の教育</p>	<p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</p>	<p>○学校生活アンケートで、豊かな心を育む項目において、肯定的な回答をした児童の割合が70%以上 ○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教職員の割合が70%以上</p>	<p>・「人権集会」や「命を考える日」を実施し、なかよしタイムで異学年交流体験をする。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等を実施する。 ・保護者や地域の方と連携したふれあい体験を実施する。 ・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 ・なかよしアンケートを毎月行う。</p>
	<p>○児童の自己肯定感の向上</p>	<p>○「心のタイム」等で「光るところ見つけ」カードを年間5枚以上書く。 ○学校生活アンケートで自分のよいところがあると思う子どもの割合が60%以上</p>	<p>・学校生活の中で、「出番・役割・承認」の取組みの充実を図り、児童一人一人の自己肯定感を高める。 ・なかよしアンケートに自己肯定感に関わる項目を7月、11月に入れて実施する。</p>

●健康・体づくり	①「望ましい生活習慣の形成」	①「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発を行う。 歯磨きの啓発を行い、虫歯保有率を20%以下にする	・「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発を年2回以上行う。 ・「すこやかみやきっ子」の調査を実施する。 ・歯磨き指導を行い、歯磨き強化週間を設ける。
	○「運動習慣の改善」	○目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上取り組む。	・縦割り班で八の字跳びにチャレンジする期間を決めて取り組ませる。 ・学級で種目と目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上参加する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・18:15の退勤時刻と18:30の施錠時刻を徹底し、最終退勤時刻を職員に周知し、意識を高める。 ・定時退勤日(毎週金曜日)を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。
	○教職員の働き方改革の推進	○毎月の時間外勤務時間45時間以内の割合を90%以上にする。 ○勤務時間を意識し、計画的効率的に職務遂行できた職員の割合を70%以上にする。	・職員会議の精選、校務分掌の平準化を徹底し、全職員で協働的に教育活動を行い、自覚的な働き方改革に取り組む。 ・定期的な指導部会において、校務や校内研究内容等についても効率的、協働的に検討し合い、チーム学校として教育活動に取り組む。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
◎志を高める教育の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	・自分で頑張ることを決め、粘り強く、取り組むことができていると答える児童が80%以上	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設け、キャリアパスポートにまとめる。 ・「夢の教室」の実践を通して、6年児童に夢を持つこと、それに向けて努力することの大切さを理解させる。
○開かれた学校づくり	地域連携、幼保小中連携の推進	・授業参観や学校行事における児童の家族及び地域住民の来校者を前年度比10%増を目指す。 ・三根校区の幼保、三根西小、三根中との交流行事に関わる児童及び教職員数の前年度比増を目指す。	・1つの行事の案内を複数の場面で言い、期日や内容の事前周知を図る。 ・学校ホームページの更新を定期的に行い、教育活動の様子を随時伝える。 ・三根校区幼保小中の会議や研修、交流会の事前周知・情報共有を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育